

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部
海洋情報監理課長 井田 壮太
098-867-0118（内線 2510）



第十一管区海上保安本部

令和 7 年 8 月 5 日

水路記念日パネル展を開催します

～100 年前（昭和初期）の海図展～

県立図書館、沖縄美ら海水族館及び残波岬灯台資料館において、昭和 100 年を振り返る、昭和初期の沖縄の海図などを紹介するパネル展を開催します。

1 概要

9 月 1 2 日は「水路記念日」です。

海上保安庁海洋情報部では、船舶が安全に航海できるように、水深、海底の地形、航路標識、障害物など、海に関する情報を記載した地図である『海図』を刊行しています。この海図のことを広く知っていただくため、「水路記念日パネル展」を開催します。

本展示では、今年は、ちょうど昭和 100 年ということに合わせて、昭和初期に作製された海図や、沖縄での海図作製のはじまりなど、わかりやすくパネルで紹介します。

2 開催場所・期間

- ① 沖縄県立図書館 3 階展示コーナー（入場無料）
令和 7 年 8 月 27 日（水）～9 月 29 日（月）
- ② 沖縄美ら海水族館 総合休憩所（入場無料）
令和 7 年 8 月 29 日（金）～9 月 30 日（火）
- ③ 残波岬灯台資料館（資料館は入館無料）
令和 7 年 9 月 1 日（月）～9 月 30 日（火）

※③残波岬灯台資料館で、9/13(土)にうーみんとの交流イベントを予定しています。

※①沖縄県立図書館及び③残波岬灯台資料館において、取材対応を予定しています。

3 展示パネルの概要

- ① 海図作製業務のはじまり
- ② うちな～（沖縄）の海図
- ③ 海図ってなに？
- ④ 100 年前（昭和初期）の海図

※1 水路記念日とは

測量から海図作製までを一貫して行う水路業務（現在の海上保安庁海洋情報部所管業務の基礎）を使命とする兵部（ひょうぶ）省海軍部水路局（現在の海上保安庁海洋情報部の前身）が、明治4年（1871年）9月12日に創設され、日本独自による近代的な海図作製を開始しました。

これを記念し、9月12日が『水路記念日』となり、今年で154周年を迎えます。

初代水路局長は、勝海舟らとともに西洋の進んだ航海術や測量術を学んだ柳樽悦（やなぎ ならよし）氏です。なお、樽悦氏のご子息は、「芭蕉布物語」などの琉球の文化や伝統工芸に関する書籍の著者で、民藝運動の父としても知られる柳宗悦（むねよし）氏です。

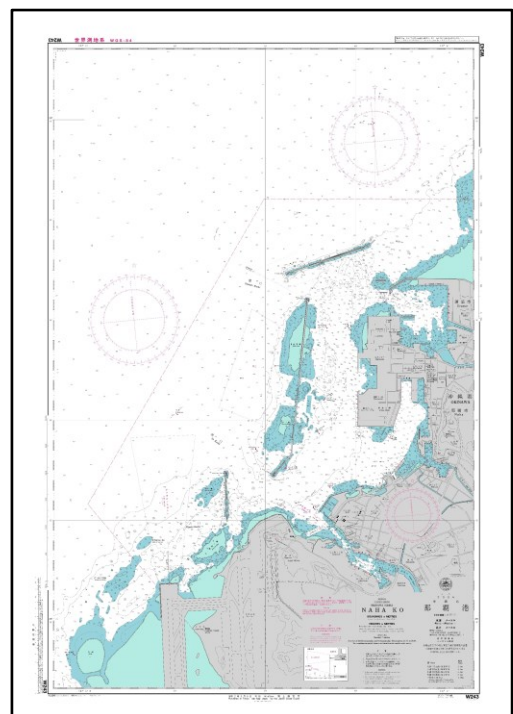


柳樽悦【初代水路局長】

※2 海図とは

海図とは、船舶交通の安全や効率的な運航に不可欠な水深をはじめ、沈船・魚礁といった障害物や灯台等の航路標識などの情報が掲載された、船舶交通に特化した主題図であり、海上保安庁が刊行しています。

海図は、法令により、一部の船舶を除く全ての船舶に備置しておくことが義務付けられています。



海図 W243「那覇港」